

# 若手開拓に向けた母校との連携対応 状況報告

2024年8月31日  
次世代委員会 二木

## 背景

これまでは主に実行委員会を担う人材の開拓の視点から、実行委員会担当年から6年前の世代を中心に、東京同窓会の名簿情報、既にコンタクトある方からの紹介、イベント開催などを通して開拓をしていたが、同窓会への関心低下、若手の先細りの状況からこのアプローチにも限界を感じている。

そこで、これまでのアプローチに加え、以下アプローチを行っている。

- 松本本部と連携した人材情報の開拓
  - 既に松本側でコンタクトしている若手人材の紹介、名簿情報の共有など
- 学校側と連携した、「同窓会に参加したくなる動機付け」の発掘、リサーチ

このうち、後者の学校側との連携を通じたアプローチについて動きがあるため共有したい。

## 状況

2024年5月に前校長徳永先生のご紹介を通じて対面する機会をいただいた現校長の腰原先生と意見交換を実施したところ、同窓会(卒業生)に対して以下の期待があることが分かった

- 探求学習のサポート・支援を行う人材の提供  
(主に卒業直後～卒業10年目以内が望ましい) ※生徒から見て「お兄さん・お姉さん」となる方
- 探求学習推進で出た課題についてアドバイス、情報提供してくれる人材バンクの整備(若手に限らず、幅広い世代に期待) ※利用者は生徒のみならず、先生の利用もあり

こうした話を受け、直近は前者の「探求学習のサポート・支援を行う人材の提供」について以下のような対応を進めている。

- 73回木村さんを軸に活動に賛同してくださる方を募る→現在15名ほど賛同者が集まる  
→現在、賛同してくださった方の属性(名前、勤務先、学校の専攻 等)を整理中
- 整理された賛同者情報を学校側に提供の上、今年度何かしらアウトプットできるよう今後腰原先生はじめ関係者と協議を予定
- 東京同窓会と学校側の連携トライアルがある程度形になり次第、松本本部と連携して同窓会全体としての活動にするとともに、学校側も来年3月卒業生に「探求学習サポーターエントリーの為の同窓会参加」を呼びかけ、若手の同窓会参加、活性化のきっかけとしたい
- 並行して、探求学習支援の人材バンク整備についても検討を進める

以上